（別記）

令和８年度日高川町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は町の中心を流れる日高川とその支流を中心に古くから水田が多く形成されており、近年では転作が進み、果樹・野菜・花き・花木の栽培が盛んな地域となっている。
令和７年度の耕作面積は 940ha、うち水田面積は 300ha、水稲作付面積は 156ha（令和７年度耕作面積調査、農林水産省データ）である。

近年、農業者の高齢化、後継者不足や獣害による収益減少により耕作放棄地の増加・農家戸数の減少が見られる。生産面では夏期高温による農作物の品質低下や収穫遅延、燃油高騰に伴う生産コストの増加が農業経営に影響を与えている。山間部における獣害による被害も見過ごせない状況となっている。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本地域の水田農業は小規模経営が大勢を占めており、農業経営改善のため、収益性・付加価値の向上を目標に、地元産品直売所等での需要が増加している、地域振興作物に位置付けた収益性が高いなす、さといも、ニガウリ、千両を重点的に作付けし、さらにブランド化の取組を進め付加価値をつける事で需要増を目指し、生産増のための作付面積の維持・拡大を図りたい。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

本地域の農業経営体は小規模農家が多く、農業収益の低さから経費の嵩む農業用機械の老朽化や破損を機に自家消費用作物栽培へと規模縮小を図る事から農業収益の低下を招いている。水稲の生産については生産調整等もあり自己保全になる水田も多い。

そういった現状の中で、小規模農家に対し、借入地等による農業経営の規模拡大により、高収益作物や地域振興作物への転換・集積を支援し、農業収益力の向上を図っている。近年では転作が進み数年以上定着している水田も見受けられるが、さらに水稲作に活用される見込みがない農地については、水田台帳、現場確認、農家への事情聴取等により作付利用状況を定期的に確認し、畑地化支援を含め検討していく。

なお、担い手への耕作地の集積（作業の効率化）や雑草・連作障害の抑制等を目的に、水稲と転換作物の作付を実施している農地については、計画的なローテーションを行うよう地域の状況を踏まえて検討していく。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

主食用米は生産数量参考値に沿った作付面積を確保し，需要に応じた生産に取り組むとともに、高品質安定生産を推進する。

（２）備蓄米

需要を踏まえた生産の取組を支援する。

（３）非主食用米

ア　飼料用米
需要を踏まえた生産の取組を支援する。

イ　米粉用米
需要を踏まえた生産の取組を支援する。

ウ　新市場開拓用米
需要を踏まえた生産の取組を支援する。

エ　WCS 用稲
需要を踏まえた生産の取組を支援する。

オ　加工用米
需要を踏まえた生産の取組を支援する。

（４）麦、大豆、飼料作物
需要を踏まえた生産の取組を支援する。

（５）そば、なたね
需要を踏まえた生産の取組を支援する。

（６）地力増進作物
需要を踏まえた生産の取組を支援する。

（７）高収益作物
野菜、花き、果樹等は、本地域の農業において占めるウエイトが高く産出額も
大きい。特になす、さといも、にがうり、千両は収益性が高く、地域の特産品として位置づけた上で振興を図ることが重要である。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	156		161		161	
備蓄米	0		0		0	
飼料用米	0		0		0	
米粉用米	0		0		0	
新市場開拓用米	0		0		0	
WCS用稲	0		0		0	
加工用米	0		0		0	
麦	0.4		1.5		1.5	
大豆	0.1		0.2		0.2	
飼料作物	0.1		0.4		0.4	
・子実用とうもろこし	0		0		0	
そば	0		0		0	
なたね	0		0		0	
地力増進作物	0		0		0	
高収益作物	21.9		48		48	
・野菜	18.4		40		40	
・花き・花木	1.9		4		4	
・果樹	1.6		4		4	
・その他の高収益作物	0		0		0	
その他						
畑地化						

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標		
				前年度（実績）	目標値
1	地域振興作物 （なす、さといも、ニガウリ、千両）	地域振興作物 の作付支援	交付面積	（令和7年度）３．９ha	（令和8年度）５．０ｈａ
2	地域振興作物 （なす、さといも、ニガウリ、千両）	地域振興作物 の作付拡大支援	拡大面積	（令和7年度）４．２ha	（令和8年度）３．７ha
3	県ビジョンで規定する高収益作物	経営規模拡大 対策支援	拡大面積	（令和7年度）０．８ha	（令和8年度）０．５ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：和歌山県

協議会名：日高川町地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	地域振興作物の作付支援	1	31,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援
2	地域振興作物の作付拡大支援	1	6,000	別紙のとおり	作付を拡大した面積へ加算助成
3	経営規模拡大対策支援	1	10,000	高収益作物	借地・売買により作付を拡大した面積へ加算助成

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別表1

日高川町地域農業再生協議会　地域振興作物			
なす	さといも	ニガウリ	千両